

平成29年度 カリキュラムサポート事業 特別講座 一次案内

「探究型学習」を実現するための アクティブラーニングについて

講師：京都大学教授 溝上 慎一 氏

本講座では、本県全体で推進している「探究型学習」のねらいである、児童生徒が知識・技能の習得にとどまらず問題解決のための思考力・判断力・表現力を高め、主体的に学ぶ態度を育成するために、アクティブラーニングの理論を理解し、明日の授業実践につなげていくための示唆をいただきます。

記

- 1 日 時** 平成29年10月14日（土） 午後1時～午後4時
- 2 会 場** 山形県教育センター 講堂
〒994-0021 天童市大字山元字犬倉津 2515
TEL 023-654-2155 FAX 023-654-2159
- 3 対 象** 県内の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校の教員
又は教育庁、教育事務所、市町村教育委員会、その他教育関係者
- 4 日程・内容**

12:30～12:55	受付
13:00～13:10	開会行事
13:10～16:00	講演「探究型学習」を実現するための アクティブラーニングについて 講師 京都大学教授 溝上慎一 氏
16:00～16:10	閉会行事

5 申込み

- (1) 参加を希望される方は、別紙「カリキュラムサポート事業 特別講座 参加申込書」に必要事項を記入の上、電子メールに添付して下記アドレスにお申込みください。参加申込書は山形県教育センターWeb ページからダウンロードも可能です。

申込先	山形県教育センター
E-mail	kyose-kensyu@pref.yamagata.jp

- (2) 申込みは、平成29年9月28日（木）までです。
(3) 参加費は無料です。参加者の旅費は自己負担ください。

6 その他

お申込みのメールをいただいた方へは、10月3日（火）までに参加登録完了メールを返信いたします。参加登録完了メールがこない場合は、県教育センターにお問い合わせください。

【 講師プロフィール 】

1970年1月生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学高等教育教授システム開発センター助手、2000年講師、2003年京都大学高等教育研究開発推進センター准教授。2014年より教授（現在に至る）。大学院教育学研究科兼任。教育アセスメント室長。京都大学博士（教育学）。

日本青年心理学会常任理事、大学教育学会理事、『青年心理学研究』編集委員、“*Journal of Adolescence*” Editorial Board 委員、公益財団法人電通育英会大学生調査アドバイザー、学校法人桐蔭学園教育顧問ほか、大学のAP委員、高校のSGH/SSH指導委員など。日本青年心理学会学会賞受賞。

専門は、心理学（現代青年期、自己・アイデンティティ形成、自己の分権化）と教育実践研究（学習と成長パラダイム、アクティブラーニング、学校から仕事・社会へのトランジションなど）。著書に『自己形成の心理学－他者の森を駆け抜けて自己になる』（2008 世界思想社、単著）、『現代青年期の心理学－適応から自己形成の時代へ』（2010 有斐閣選書、単著）、『大学生の学び・入門－大学での勉強は役に立つ！－』（2006 有斐閣アルマ、単著）、『高校・大学から仕事へのトランジション－変容する能力・アイデンティティと教育－』（2014 ナカニシヤ出版、編著）、『活躍する組織人の探究－大学から企業へのトランジション－』（2014 東京大学出版会、編著）、『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』（2014 東信堂、単著）など多数。

【お問い合わせ】

山形県教育センター
指導主事 山科 勝
TEL 023-654-2155